

## 高等学校 令和 7 年度 (3 学年用)

教科：国語

科目：総合国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：(1組：丸山) (2組：丸山) (3組：丸山) (4組：丸山) (5組：吉永) (6組：吉永) (7組：吉永)

使用教科書：国語必携パーフェクト演習 (尚文出版)

教科の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたって国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉の効果的に使えるようになる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉の効果的に使えるようになる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
<p>1 単元名 随想・評論・小説</p> <p>【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値～他者や社会に関わろうとする</p>	<p>【使用教材】 個人端末、プリント</p> <p>【指導項目・内容】 随想 五木寛之『ちいさな物みつけた』 評論 中村雄二郎『哲学への誘い』 小説 幸田文『雛』</p>	<p>【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。</p>	○	○	○	14
<p>1 単元名 随想・評論・短歌・俳句</p> <p>【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値～他者や社会に関わろうとする</p>	<p>【使用教材】 個人端末、プリント</p> <p>【指導項目・内容】 評論 姜尚中『悩む力』 詩 高村光太郎『道程』 随想 芥川龍之介『侏儒の言葉』 評論 伊藤整『文学入門』 竹西寛子『国語の時間』</p>	<p>【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用しようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。</p>	○	○	○	14
<p>2 単元名 随想・評論・小説</p> <p>【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値～他者や社会に関わろうとする</p>	<p>【使用教材】 個人端末、プリント</p> <p>【指導項目・内容】 短歌 正岡子規ほか 俳句 高浜虚子ほか 随想 逸藤周作『最後の花時計』 評論 外山滋比古『日本語の論理』</p>	<p>【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。</p>	○	○	○	14
<p>2 単元名 随想・評論・小説</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特徴を区別できる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値～他者や社会に関わろうとする</p>	<p>【使用教材】 個人端末、プリント</p> <p>【指導項目・内容】 随想 鷲田清一『済ませる食事』 小説 三浦哲郎『やどろく』 評論 南博『日本の自我』 古典 清少納言『枕草子』 古典 松尾芭蕉『奥の細道』 古典 志貴皇子ほか</p>	<p>【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。</p>	○	○	○	14

年間授業計画 新様式

## 高等学校 令和 7 年度 (3 学年用)

教科 科 : 国語

科目 : 総合国語

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 3 学年

教科担当者 : (1組:丸山) (2組:丸山) (3組:丸山) (4組:丸山) (5組:吉永) (6組:吉永) (7組:吉永)

使用教科書 : 国語必携パーフェクト演習 (尚文出版)

教科の目標 : 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使えるようになる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使えるようになる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 単元名 随想・評論・短歌・俳句						
【知識及び技能】 情報を適切に扱うことができる	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用しようとしている。				
3 学 期 【思考力、判断力、表現力等】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値～他者や社会に関わろうとする	【指導項目・内容】 古典 松尾芭蕉ほか SP I 故事成語 難読語、四字熟語 覚えておきたい重要事項 (ことわざ)	【思考力、判断力、表現力等】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	○	○	○	14